

# スポーツクラブ経営の意思決定モデル分析

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 経営・政策科学専攻

学位論文審査委員会提出 修士(ビジネス)論文

平成 20 年 1 月 25 日

学籍番号 200620861

氏名 飯沼 亮太

論文指導教員

住田 潮 教授

# 要旨

これまで長らく我が国のスポーツは、主として学校と企業によって支えられてきた。しかし、1990年代後半から実業団チームの休廃部が相次ぐ一方で、新しい試みとして地域密着型スポーツクラブの設立が奨励されている。そこで本研究では、スポーツクラブをプロ化して継続するかプロ化せずに継続するかという意思決定に焦点を当てたモデルを構築する。この意思決定モデルを動的計画問題として定式化し、最適投資戦略が一意的に存在することを証明した。モデルの性質を明らかにするために2つのシナリオを設定し、各パラメーターに対するプロジェクト価値と最適投資額の単調性を数値実験によって検証した。プロジェクト価値と最適投資額に対する各パラメーターの感度を示した結果、単調増加性があることが確認された。また、シナリオ間の比較を行うことで、そのシナリオにおける重要意思決定要素を導出した。しかし、この結果のみで汎用的な重要意思決定要素を特定することは困難であり、現実パラメーターを推定する手法が構築されれば、本研究の意思決定モデルをより有効に活用することが可能となるであろう。

# 目次

第 1 章 序論	1
第 2 章 スポーツクラブ経営の意思決定モデル	4
第 3 章 動的計画法による定式化	8
3.1 動的計画問題の定式化	8
3.1.1 $PRO$ を選択しても撤退可能な場合の動的計画問題 $DP - V$	8
3.1.2 $\neg PRO$ を選択しても撤退可能な場合の動的計画問題 $DP - \hat{V}$	10
3.2 最適投資額の定式化	12
3.2.1 $PRO$ を選択する場合の最適投資額	12
3.2.2 $\neg PRO$ を選択する場合の最適投資額	13
第 4 章 数値実験	15
第 5 章 結論	33
参考文献	34
謝辞	35